



日本の南極観測のあゆみ



日本の南極観測は、当初3年間の予定で始まりましたが、中断を経て再開し、現在まで続いています。

観測船は、「^{そうや}宗谷」(第1～第6次隊)→「^{ふじ}ふじ」(第7～第24次隊)→初代「^{しらせ}しらせ」(第25～第49次隊)→^{げんこう}現行「しらせ」(第51次隊～)と代わっています。初代「しらせ」の引退のため、第50次隊はオーストラリアの^{さいひょうせん}砕氷船「オーロラ・オーストラリス」による^{だいたいゆうそう}代替輸送を行いました。

また、第1次隊による昭和基地開設以降、日本は南極に、みずほ基地、あすか基地、ドームふじ基地を開設し、観測網が^{かくしゅう}拡充するとともに、観測の国際化が進展しました。

【日本の南極観測の歴史年表】



第1次隊 昭和基地建設



第3次隊 タロ・シロの生存を確認



第5次隊の頃の昭和基地



第9次隊 南極点到達



第17次隊 ロケット観測



第18次隊 内陸旅行

年	観測船	隊次	主な内容
1957	宗谷	1	第1次観測隊出発(1956年)、昭和基地開設
		2	越冬断念
		3	越冬再開、タロとシロ生存発見
		4	やまと山脈初調査、福島隊員遭難
		5	南緯75度までの内陸調査
		6	昭和基地閉鎖
南極観測の中断			
1970	ふじ	7	昭和基地再開(1967年)
		8	昭和基地—マラジョーシナヤ基地及びプラトー基地往復、南極点往復旅行準備
		9	南極点到達
		10	やまと山脈で隕石発見、内陸雪氷調査開始
		11	オーロラロケットによる観測成功、みずほ基地開設(※1)
		12	みずほ基地で氷床掘削
		13	みずほ基地越冬観測
		14	やまと山脈—白瀬氷河中流域三角嶺での再測量成功
		15	やまと山脈で隕石663個採集
		16	コウテイペンギンのルッカリー(営巣地)発見
		17	国際磁気圏観測開始、ロケットによる観測
		18	みずほ基地通年越冬観測
		19	ロケットによる観測
		1980	しらせ(初代)
21	初の本格的生物潜水調査		
22	人工地震による氷床下大陸構造観測		
23	オゾンホール発見		
24	セール・ロンダーネ山地へ雪氷調査		
25	みずほ基地で700m氷床掘削、二酸化炭素モニタリング開始		
26	あすか基地開設(※2)、氷床頂上到達し「ドームふじ」と命名		
27	昭和基地—アイスランド オーロラ共役点観測開始		
28	あすか基地越冬観測開始、セール・ロンダーネ山地調査開始		
29	初の女性隊員夏隊に参加		
1990	しらせ(初代)	30	昭和基地に多目的大型アンテナ設置
		31	ヘリコプター利用セール・ロンダーネ山地地学調査開始
		32	ボラーパトロール気球打ち上げ成功、あすか基地閉鎖
		33	新大型雪上車使用開始、昭和基地整備十ヶ年計画開始
		34	超伝導重力計による重力観測開始
		35	ドームふじ基地開設(※3)
		36	湖沼コケ群落の発見、ドームふじ越冬開始
		37	ドームふじ基地で2503m氷床掘削成功
		38	ドームふじ大気物質循環観測
		39	女性隊員初越冬
		40	大型短波レーダ設置、アムンゼン湾地学調査
2000	しらせ(初代)	41	やまと山脈とベルジカ山脈で隕石4180個採集
		42	白瀬氷河上流域での雪氷観測
		43	専用観測船による海洋観測、氷床下大陸構造人工地震観測
		44	ドームふじ基地での越冬、NHK南極支局開設
		45	ドームふじ氷床全層掘削開始、インテルサット衛星通信開始
		46	大気ラドン濃度連続観測、エアロゾル分布季節変化観測
		47	日独航空機観測、ドームふじ氷床3029m掘削
		48	日本の南極観測50周年、国際極年開始
		49	S17航空機観測拠点建設、ドームふじ氷床3035m掘削
		50	初のチャーター船「オーロラ・オーストラリス号」、初の外国基地査察
2010	しらせ(現行)	51	教員南極派遣プログラム開始。現職教諭2名テレビ会議システムで南極から授業
		52	昭和基地から南極教室を年19回実施
		53	大型大気レーダー建設、一部観測開始
		54	米口合同査察団、昭和基地入り
		55	少人数(24人)による昭和基地越冬
		56	大型大気レーダー調整完了、本格観測開始
		57	基本観測棟基礎工事、大型大気レーダーフルスペック観測
		58	昭和基地開設60周年、大型大気レーダー国際共同観測
		59	アデリーペンギンの行動圏の観測
		60	氷床コアの掘削場所を決定、基本観測棟での活動開始
2020	しらせ(現行)	61	南極移動基地ユニットの実証実験

南極条約発効(1961年)

「環境保護に関する南極条約議定書」発効(1998年)

※1 当時の名称は「みずほ観測拠点」、※2 当時の名称は「あすか観測拠点」、※3 当時の名称は「ドームふじ観測拠点」